

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名	てらびあぼけっとと祐天寺教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9件	0件		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9件	0件	・基本的には子ども一人につき職員が一人以上ついている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9件	0件	・段差はまったくない ・遊びと活動する場所を分けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9件	0件	・毎日清掃している ・整理整頓を心がけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9件	0件	・個別療育の時間にはそれぞれの子どもに合った個室を一つずつ使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9件	0件	・毎日、全職員が参加するミーティングを行い記録を共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9件	0件		・業務改善の結果を保護者が確認しやすいように周知していく
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9件	0件	・ミーティングにて報告する機会がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5件	4件	・本部や区から外部評価を受けている	・第三者評価は行ってないので検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9件	0件	・本部が行っている研修を定期的に受講している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9件	0件		・教室ホームページにもプログラムを公表していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9件	0件		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9件	0件	・保護者への聞き取りをもとに全職員が検討に参加している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9件	0件	・子どもごとの記録ファイルをもとに支援計画の確認・共有をしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9件	0件	・アセスメントシートやデータシートを用いて認識を共有できるようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9件	0件		・支援を提供する際にも、その支援がどの項目に該当するのか意識して行う
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9件	0件	・終礼にて職員間で意見を出し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9件	0件	・子どもによって固定化が望ましい場合には固定化することもあるが、子どもの状況に合わせてプログラムを考えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9件	0件	・毎回集団と個別の活動を行う時間を設定している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9件	0件	・朝礼での口頭伝達やデータシートに共有事項を表示している	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9件	0件	・当日の支援を振り返る時間を確保している		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9件	0件			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9件	0件	・半年に一度見直しを行っている		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9件	0件		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8件	1件		・現状は保育・教育等の限られた機関との連携にとどまっているので必要に応じて連携する関係機関を広げていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9件	0件	適時保育所の先生などに見学に来てもらっている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8件	1件		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7件	2件		
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1件	8件	・園の先生と交流はあるが他の子どもとの活動はない	・教室の性質上は地域で活動することを想定していないが、ニーズを聞き取り検討する
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9件	0件	・加えて保護者からの希望があれば面談も行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9件	0件	・家庭でできること等をお伝えしている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9件	0件		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9件	0件		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9件	0件		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9件	0件		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1件	8件		・直接的な交流の機会は設けられていないが、職員が間に入って保護者同士の情報共有を行っている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9件	0件		
	41	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7件	2件	・毎回連絡帳にて活動内容を報告している	・SNSを利用していない保護者に対する連絡体制を検討する
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9件	0件		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9件	0件	・一人ひとりに合わせた支援方法など保護者には実際に見てもらいながら説明している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0件	9件		・利用とは別に地域住民の子育てに関する相談を広く受け付ける
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9件	0件	・マニュアルを活用し、定期的に事業所内で研修している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9件	0件		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9件	0件	・ミーティングにて共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6件	2件	・食事をすることがないがアレルギーについては事前に確認している	・アレルギーの有無に加えて程度の把握もしていき活動にリスクがないか管理する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9件	0件		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9件	0件		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9件	0件	・専用のファイルに記録をして共有している	・ヒヤリハットの件数を増やして事故を未然に防ぐための対策を検討する
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9件	0件	・外部、内部の研修に参加している	・不適切な支援がないか、職員同士が風通し良くお互いに指摘しあえる関係性をつくっていく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8件	1件	・身体拘束を必要とする利用者がいない	・身体拘束の要件等を改めて職員間で確認しておく	

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけつと祐天寺教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日	～	2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 45名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 18日	～	2024年 10月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性や課題、保護者のニーズに応じた専門性のある支援が提供できる。	子どもの様子や情報は毎日必ず職員全員で共有し、次回利用に向けて支援の方針を検討しています。前例のないニーズであってもすべてに答えていけるように支援内容をアップデートしています。	関係機関との連携をさらに強化して、それぞれの専門職との情報共有を行いながら事業所での支援に取り入れていきます。
2	子どもが楽しみながら通えて保護者の満足度も高い	職員一人一人が子どもにとっての「強化子」になれるように努めています。子どもの課題ばかりでなく、今できていることや強みにも注目して肯定的に関わっていくことで自信を持っていただきたいと思っています。	保護者のご意見をさらにくみ取れるように、連絡帳やフィードバックでのお話から、ご心配事やニーズを見逃さないようにしてご面談をこちらからお誘いするようにしていきます。
3	日ごろから子どもの成長や課題、お困りごとなどをきめ細かく保護者とやりとりしながら共有できる	子どもの成長を保護者と一緒に喜びあえることが、何よりもうれしい瞬間です。ご家庭では見せない様子もお伝えできるように心がけています。通われている園でのご様子も訪問して直接拝見させていただくこともございます。	連絡帳をICT化したことで写真の添付もできるようになったので、より活動中のご様子をわかりやすくお伝えできるようになってきました。保護者からのコメントも一括管理してすべてを把握できるようになっています。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が直接交流できる機会が少ない	教室の特性上なかなか保護者同士が交流できる機会を設けることが難しい。交流を希望しない保護者もいらっしゃいます。	直接交流できなくても、知りたい情報などのニーズをお聴き取りして、職員が間に入って他の保護者から情報収集してお伝えしています。就園のタイミングでは特にニーズが高まる時期なので、こちらから提案できるようにしていきます。
2	地域で他の子どもと活動する機会がない	教室の特性上、室外での活動を想定しておらず、希望されない保護者もいらっしゃるので実施日の設定も難しい。	職員から課外授業の企画も出ています。安全性を確保しつつ、希望されない方には通常の支援を確保できる形を模索しながら実現に向けて検討していきます。
3	事業所での活動を紹介したり、各マニュアルを周知することが徹底できていない	SNSを使った活動の紹介は行えていません。各マニュアルは保護者がいつでも手に取れる場所に保管しておらず、契約時のご説明にとどまっています。	個人情報に気をつける方への配慮もあって、個別の連絡帳の充実でSNSでの活動報告やお便りの代わりとなるよう努めています。またマニュアルは玄関や相談室など保護者の目に入りやすい場所に保管するように変更し、契約時以外にも周知を徹底していきます。